

肝疾患医療連携推進専門委員会

(平成 25 年度)

肝疾患患者フォローアップシステムの検証と 肝がん地域連携クリティカルパスについて

広島県地域保健対策協議会 肝疾患医療連携推進専門委員会

委員長 茶山 一彰

I. はじめに

我が国の5大がんの一つである肝がんの80~90%は、B型肝炎ウイルス(HBV)、C型肝炎ウイルス(HCV)の持続感染を背景に発症することが知られている。これまで本委員会の前身である肝炎対策専門委員会において、検診によるHBV、HCV感染者の拾い上げ、専門医療機関への受診勧奨、慢性肝疾患患者に対するインターフェロン(IFN)治療などの受療勧奨などが行われ、一定の成果が得られてきた。特に広島県内での肝炎治療ネットワークの作成によりIFN治療における病診連携はスムーズに行われるようになり、また県内の肝炎診療レベルの均てん化の一助となっている。

本事業は、肝疾患医療連携推進特別委員会として引き継がれ、平成24年度、「病態に応じた適切な肝炎医療の提供」による肝炎ウイルス検査後のフォローアップ体制の充実と、「肝がん医療ネットワークの構築」による各施設間の連携を目指し、肝疾患

患者フォローアップシステムの構築と、広島県版肝がん地域連携クリティカルパスの作成や肝炎ウイルス陽性者に対する指導を行うための肝炎患者支援手帳の作成が行われた。

本年度は、肝疾患患者フォローアップシステムの検証と肝がん地域連携クリティカルパスについての検討がされた。

1. 肝疾患患者フォローアップシステムの検証について

肝炎ウイルス検査の結果、診療が必要とされたB型およびC型肝炎ウイルス持続感染者(キャリア)が医療機関を受診していない、あるいはたとえ医療機関を受診していても適切な肝炎医療が提供されていない、などの問題点が指摘されており、肝炎ウイルスキャリアを「広島県肝疾患診療支援ネットワーク」における専門医療機関へつなげる必要がある。本年度は、現在、運用されている広島県肝疾患患者フォローアップシステム(図1)の課題を検証した。その結果、すでに肝炎ウイルス検査を受けているが、

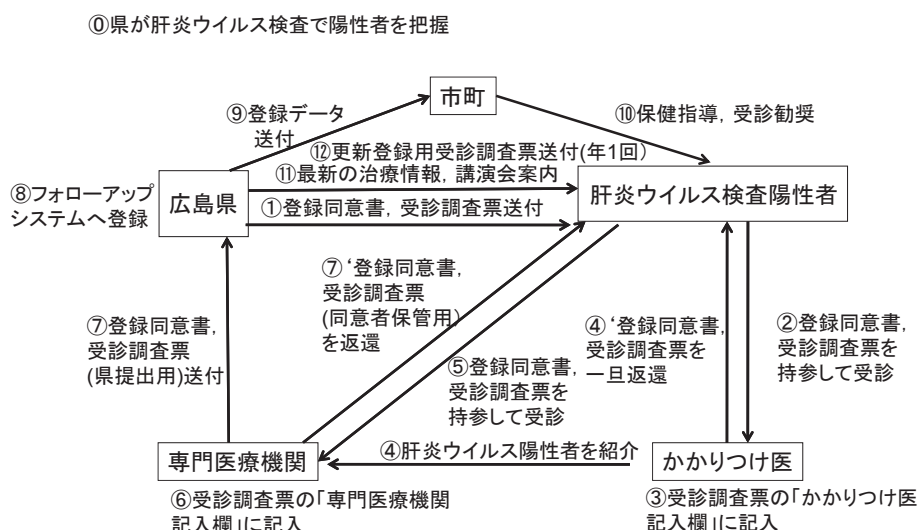


図1 広島県肝疾患患者フォローアップシステム受診フロー図

自身では認識していない受検者が多数いることが判明した。

また、厚生労働省が実施した平成23年度肝炎検査受検状況実態把握事業から、手術や献血前に肝炎ウイルス検査を受けているが自身では認識していない「非認識受検者」の割合がB型肝炎ウイルス検査は39.8%、C型肝炎ウイルス検査は30.4%と多く存在していることが判明している。

これを受けて広島県は、肝炎ウイルス検査を受検したことを常に認識しておくことが大切であるとして、非認識受検者を含めた肝炎ウイルス検査受検者に対し、検査日を記録、保存するための肝炎ウイルス検査記録カードを作成した(図2)。同カードは平成25年10月末から12月末までに啓発用チラシと合わせ医療機関、市町、保健所などに40,000部が配付されている。

さらに、本システムの登録対象者を拡大するため、県内に居住するキャリアで登録に同意した者すべてを登録対象とし、登録者情報の取り扱いについては、閲覧の制限を広げるとした。また、受診調査票の様式については、B型・C型のウイルス型の記載欄の追加、3剤併用療法に対応するための選択肢の修正、また既存の4枚複写から5枚複写に変更し、提出作業の簡素化を図ることとした(図3)。

広島県肝疾患診療支援ネットワークでは、肝炎ウイルス陽性者／患者が医療機関を受診し、検査・治

療を継続して行うため、肝炎の病態、治療方法、肝疾患に関する制度などの情報を記載した携帯可能な手帳を作成している。この手帳は、1. 患者自身の健康管理に役立てる、2. 広島肝疾患コーディネーターなどによる肝炎ウイルス陽性者(キャリア)への保健指導において、キャリアへの受診勧奨を促す、3. 継続的で適切な受療の動機づけ、などを目的としている。本手帳は、①保健所、市町による肝炎ウイルス陽性者への保健指導時、②肝疾患専門医療機関における肝炎患者の診療時、③産業医による肝炎ウイルス陽性者への保健指導時、などに交付される。本年度、さらに、C型肝炎に対する新たな治療であるシメプレビルを含む3剤併用療法にも対応可能となるよう、「わたしの手帳」の記載内容を変更し、修正した(図4)。

2. 広島肝がん医療ネットワークと肝がん地域連携クリティカルパスについて

広島県では、5大がん(胃がん、肺がん、大腸がん、肝がん、乳がん)の医療連携体制の構築を目指した段階的な取り組みが行われている。肝がん医療連携体制の構築にあたっては、肝がん患者の多くが肝炎ウイルスキャリアであり、肝疾患患者フォローアップシステムとの連携をはかることが重要であるため、肝疾患医療連携推進特別委員会において検討が重ねられ、平成23年度に広島肝がん医療ネットワークが策定された(図5)。本ネットワークでは、


肝臓は「沈黙の臓器」

自覚症状がないまま肝障害が進行します。現在、C型肝炎の治療効果が飛躍的に進歩しています。またB型肝炎の治療は、肝がんへの進行を抑えることが可能になっています。身近な方にも、是非、肝炎ウイルス検査をお勧めください。

検査や医療に関する相談は


肝疾患相談室 (医療に関する専門的な相談) 相談に係る費用は無料です。
 広島大学病院: 広島市南区霞1-2-3 電話: 082-257-1541 (専用)
 福山市民病院: 福山市蔵王町5-23-1 電話: 084-941-5151 (内1160)
*各相談室の相談日は、土、日、祝日及び年末年始の日は除きます。

検査を受けるには↓



広島県

肝炎ウイルス検査の記録




広島大学肝炎・肝癌対策プロジェクト研究センター
 広島県地域保健対策協議会肝疾患医療連携推進専門委員会

検査日	検査場所	メモ
年 月 日		

❖ 自分で記録しておきましょう。

おなまえ

❖ 県及び市町の実施する、B型肝炎ウイルスの検査はHBs抗原検査、C型肝炎ウイルスの検査は国の検査手順に従った抗体検査とNAT検査(核酸増幅検査)の組み合わせで判定します。

❖ 陰性と判定されていても、だるさ、食欲不振などの自覚症状がでた時には、あらためて検査することをお勧めします。

❖ 陽性と判定された場合は、早急に専門医に肝臓の状態を診てもらいましょう。

広島県

治療には医療費の助成も受けられます




図2 肝炎ウイルス検査記録カード

様式第2-1号

広島県肝疾患患者フォローアップシステム医療機関受診調査票 (新規登録用)

- 1 かかりつけ医県提出用
- 2 専門医療機関県提出用
- 3 かかりつけ医保存用
- 4 専門医療機関保存用
- 5 同意者保管用

【患者連絡先】〒 _____

住 所 _____
 ふりがな _____
 氏 名 _____ (男・女)
 生年月日 大正・昭和・平成 年 月 日 (歳)
 電話番号 _____

保 険 区 分 (_____)
(該当区分に〇) (健保組合・協会けんぽ・船員・共済組合)
 (_____) (国保・後期高齢者・その他)
 保 険 者 名 _____
 被保険者氏名 _____
 記 号 ・ 番 号 _____

<かかりつけ医記入欄> 【記載年月日：平成 年 月 日】

医療機関名 所在地 担当医師名	ウイルス型 <small>(該当区分に〇)</small>	血液検査 (検査日：平成 年 月 日)
	B型・C型	AST (_____ IU/1) ALT (_____ IU/1) 血小板数 (_____ ×10 ⁴ /μℓ)

<専門医記入欄> 【記載年月日：平成 年 月 日】

検査所見 (該当する方に〇を記入してください。)	1 B型肝炎ウイルスマーカー HBs抗原 (+・-) (検査日：平成 年 月 日) HBe抗原 (+・-), HBe抗体 (+・-) (検査日：平成 年 月 日) HBV-DNA 定量 (_____ LogIU/mL) (検査日：平成 年 月 日) 2 C型肝炎ウイルスマーカー (検査日：平成 年 月 日) HCV-RNA 定量 (_____ LogIU/mL) ウイルス型 セログループ (1 ・ 2) 又は ジェノタイプ (1b ・ 2a ・ 2b ・ その他 [_____])		
診断結果 (該当する方は欄に〇を記入してください。)		初 診 時 (平成 年 月 日)	直 近 (平成 年 月 日)
	無症候性キャリア	B型・C型	B型・C型
	慢性肝炎	B型・C型	B型・C型
	代償性肝硬変	B型・C型	B型・C型
	非代償性肝硬変	B型・C型	B型・C型
治療内容 (該当する治療方法等に〇を記入してください。)	インターフェロン治療 (該当する番号及び製剤に〇を記入してください。)	1 インターフェロン単独 (α製剤・β製剤・ペグ) 2 ペグインターフェロン製剤+リバビリン製剤 3 インターフェロンβ製剤+リバビリン製剤 4 3剤併用療法 (プロテアーゼ阻害剤の名称： _____) 5 その他 (_____)	
	治療 (予定) 期間	_____ 週 (平成 年 月 ~ 平成 年 月)	
	核酸アナログ製剤治療 (該当する番号に〇を記入してください。)	1 エンテカビル単独 2 ラミブジン単独 3 アデホビル単独 4 ラミブジン+アデホビル 5 その他 (_____)	
	治療開始日	平成 年 月 日	
	その他	治療方法 (_____)	
	治療開始日	平成 年 月 日	
経過観察			
治療上の問題点	※自由記入		
専門医療機関	医療機関名 所在地 担当医師名	印	

※ (県・市町記入) 検査事業名： _____

※ (県記入) ID番号： _____

様式第2-2号

広島県肝疾患患者フォローアップシステム医療機関受診調査票 (更新登録用)

- 1 かかりつけ医県提出用
- 2 専門医療機関県提出用
- 3 かかりつけ医保存用
- 4 専門医療機関保存用
- 5 同意者保管用

【患者連絡先】〒 _____

住 所 _____

ふりがな _____

氏 名 _____ (男・女)

生年月日 大正・昭和・平成 年 月 日 (歳)

電話番号 _____

保 険 区 分 (健保組合・協会けんぽ・船員・共済組合)
(該当区分に〇) (国保・後期高齢者・その他)

保 険 者 名 _____

被 保 険 者 氏 名 _____

記 号 ・ 番 号 _____

<かかりつけ医記入欄> 【記載年月日：平成 年 月 日】

医療機関名 所在地 担当医師名 印	ウイルス型 (該当区分に〇)	血液検査 (検査日：平成 年 月 日)
	B型・C型	AST (_____ IU / l) ALT (_____ IU / l) 血小板数 (_____ × 10 ⁴ / μl)

<専門医記入欄> 【記載年月日：平成 年 月 日】

検査所見 (該当する方に〇を記入してください。)	1 B型肝炎ウイルスマーカー HBs抗原 (+・-) (検査日：平成 年 月 日) HBe抗原 (+・-)，HBe抗体 (+・-) (検査日：平成 年 月 日) HBV-DNA 定量 (_____ LogIU / mL) (検査日：平成 年 月 日) 2 C型肝炎ウイルスマーカー (検査日：平成 年 月 日) HCV-RNA 定量 (_____ LogIU / mL) ウイルス型 セログループ (1 ・ 2) 又は ジェノタイプ (1b ・ 2a ・ 2b ・ その他 [_____])	
診断結果 (該当する方は欄に〇を記入してください。)		直 近 (平成 年 月 日)
	無症候性キャリア	B型 ・ C型
	慢性肝炎	B型 ・ C型
	代償性肝硬変	B型 ・ C型
	非代償性肝硬変	B型 ・ C型
治療内容 (該当する治療方法等に〇を記入してください。)	インターフェロン治療 (該当する番号及び製剤に〇を記入してください。)	1 インターフェロン単独 (α製剤・β製剤・ペグ) 2 ペグインターフェロン製剤+リバビリン製剤 3 インターフェロンβ製剤+リバビリン製剤 4 3剤併用療法 (プロテアーゼ阻害剤の名称： _____) 5 その他 (_____)
	治療 (予定) 期間	_____ 週 (平成 年 月 ~ 平成 年 月)
	核酸アナログ製剤治療 (該当する番号に〇を記入してください。)	1 エンテカビル単独 2 ラミブジン単独 3 アデホビル単独 4 ラミブジン+アデホビル 5 その他 (_____)
	治療開始日	平成 年 月 日
	その他	治療方法 (_____)
	治療開始日	平成 年 月 日
経過観察		
治療上の問題点	※自由記入	
専門医療機関	医療機関名 _____ 所在地 _____ 担当医師名 _____ 印	

※ (県記入) ID番号： _____

図3 受診調査票

もくじ

◆はじめに	02
◆この手帳の使い方	04
◆C型慢性肝炎インターフェロン（IFN）治療 クリティカルパス	05
◆インターフェロンの副作用	06
◆「広島県肝疾患診療支援ネットワーク」とは	07
◆C型慢性肝炎IFN治療 クリティカルパス①～	08
参考資料	
◆C型慢性肝炎IFN治療 クリティカルパス IFN治療前チェックシート	26
◆C型慢性肝炎IFN治療 クリティカルパス一覧表	28
◆C型慢性肝炎IFN治療 クリティカルパス一覧表（記入例）	30
◆C型慢性肝炎IFN治療 クリティカルパス（記入例）	32



図4 肝炎患者支援手帳「わたしの手帳」

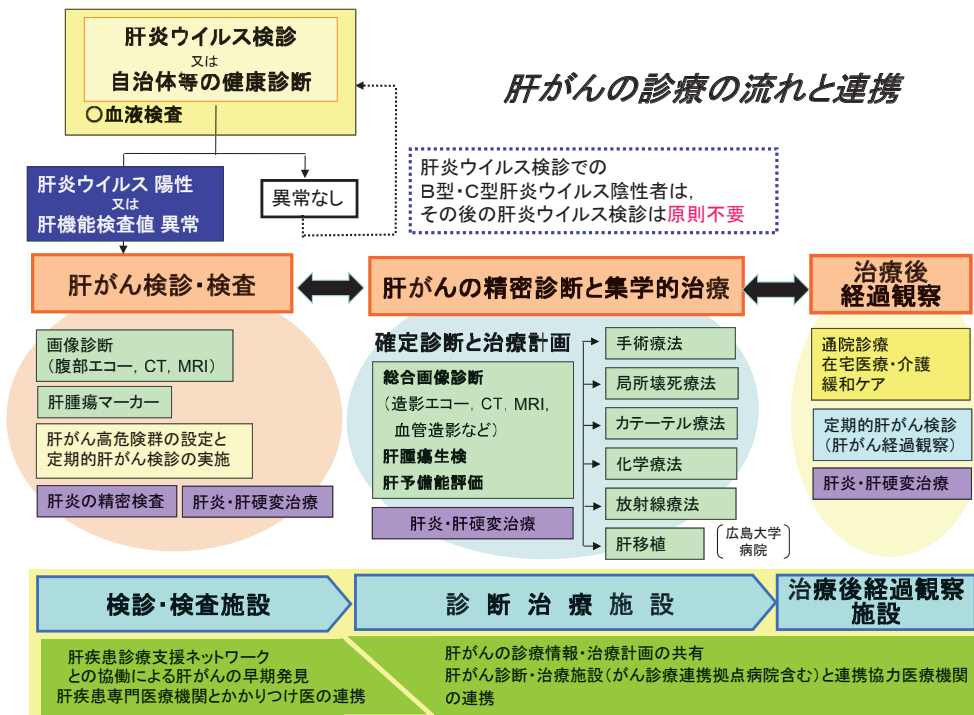


図5 広島県肝がん医療ネットワーク

各医療機関を、①【検診・検査施設】、②【診断・治療施設】、③【治療後経過観察施設】に分類し、各施設の連携体制がはかられている。

広島肝がん医療ネットワークにおける各医療機関の連携のための肝がん地域連携クリティカルパス(図6)が現在、運用されているが、このうち、「診断・治療施設」の19施設に配付した同パスの利用状況について検証した。回答のあった17施設では9月から12月の肝がんの新患者数371人に対し、パスを配付した患者数は20名であった。さらなる普及啓発とともに、医療機関の日常診療における利便性、患者側における検査記録などの保存しやすさなどの利

便性、有益性も考慮し、既存のファイルにマチ付きポケットファイルを追加することとした。

II. おわりに

B型肝炎、C型肝炎に対する新規抗ウイルス薬が次々上市されている。肝炎ウイルスキャリアの拾い上げと適切な抗ウイルス療法、肝がんスクリーニングと肝がんの集学的治療には、肝疾患患者フォローアップシステムや肝がん地域連携クリティカルパスに基づいた、かかりつけ医と肝疾患専門医療機関との連携が重要である。今後も引き続き、これらのシステムの継続的な検証と改良が望まれる。

肝細胞がん地域連携パス

患者ID	専門医療機関名		連絡先						
フリガナ	医師名		() () -						
患者氏名	連携医療機関名		連絡先						
	医師名		() () -						
合併症 ・糖尿病 ・脳神経疾患 ・他 ()	背景疾患		TACE	RFA	肝切除	肝性脳症	無	有	治療後
	HBV HCV NBNC 他()								
Child-pugh score	A	B	C	治療法	Stage	TMN分類	無	有	治療後

連携医療機関での日常診療	1年と						2年と			3年と			4年と			
	退院時	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	6ヶ月	12ヶ月	6ヶ月	12ヶ月	6ヶ月	12ヶ月
術後経過年月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
病院受診日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CBC	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
生化学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
AFP/PIVKA II	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
腹部超音波検査	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
腹部CTまたはMRI	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
上部消化管内視鏡検査	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バリアンス	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無

*連携医療機関での検査は、必要時に適宜行います。
*患者さんの状態によっては、上記以外の検査を行うこともあります。

【患者さまへ】
『連携ファイル』は、患者さん自身で管理し、受診時には必ず持参してください。

図6 肝がん地域連携クリティカルパス

広島県地域保健対策協議会 肝疾患医療連携推進専門委員会

委員長	茶山 一彰	広島大学病院
委員	相方 浩	広島大学病院
	相光 汐美	松石病院
	荒木 康之	広島市民病院
	板本 敏行	県立広島病院
	大段 秀樹	広島大学大学院医歯薬保健学研究院
	大林 諒人	JA尾道総合病院
	奥野 博文	中区厚生部
	海嶋 照美	広島県健康福祉局業務課
	柿沢 秀明	広島赤十字・原爆病院
	菊間 秀樹	広島県健康福祉局
	北本 幹也	県立広島病院
	吉川 正哉	吉川医院
	吉良 臣介	済生会広島病院
	桑原 正雄	広島県医師会
	高野 弘嗣	呉医療センター・中国がんセンター
	小林 道男	小林医院
	坂口 孝作	福山市民病院
	高橋 祥一	高陽ニュータウン病院
	田代 裕尊	広島大学病院
	武田 直也	広島県健康福祉局がん対策課
	田中 純子	広島大学大学院医歯薬保健学研究院
	豊田 秀三	広島県医師会
	中西 敏夫	市立三次中央病院
	檜谷 義美	広島県医師会
	舛田 一成	舛田内科・消化器科
	山田 博康	広島県医師会
	吉田 智郎	日本鋼管福山病院